

第 47 回植物化学シンポジウム「薬食同源と生合成」
日本植物化学研究会・静岡県立大学グローバル COE プログラム共催

11 月 18 日（木）静岡県立大学小講堂 13：00

13:00 – 13:05 開催にあたって（駒嶺会長ご挨拶）

13:05 – 13:10 本シンポジウムの趣旨説明（野口博司）

13:10 – 13:50 「茶の機能性成分の解明と成分を利用した製品の開発」
（山本万理 独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 野菜茶業研究所）

13:50 – 14:30 「カンキツの機能性とその利用技術」
（小川一紀 農業・食品産業技術総合研究機構 果樹研究所 カンキツ研究興津拠点）

14:30 – 15:10 「排尿障害と植物製剤-ノコギリヤシエキスを中心に」
（山田静雄 静岡県立大学薬学部）

(15:10 – 15:20 休憩)

15:20 – 15:50 「微生物発酵法によるイソキノリンアルカロイド生合成工学」
（南 博道 石川県立大学 生物資源工学研究所）

15:50 – 16:20 「植物ポリケタイドの微生物生産」
（鮎信学 静岡県立大学食品栄養科学部）

16:20 – 16:50 「植物ポリケタイド合成酵素の構造と機能」
（森田 洋行 東京大学大学院薬学研究科）

16:50 – 17:30 「植物二次代謝酵素の潜在的触媒能力と機能拡張」
（阿部郁朗 東京大学大学院薬学研究科）

17:30 – 17:40 おわりに（野口 博司：静岡県立大学薬学部）

18:00 – 19:30 懇親会

（懇親会費：演者、座長は招待、一般 3,000 円、学生 500 円）